





このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。 また、この取扱説明書は大切に保管してください。

日本国内専用(FOR USE IN JAPAN ONLY)

電波の使	戸川に関する注意
Licone	EX システムの概要
1	用語説明P07
2	システム構成P08
3	無線通信の注意点P09
4	ベースモジュールの各部の名称P11
5	タブレットの接続のしかたP12
6	基本の画面構成P15
照明の制	 御のしかた
1	配灯画面のみかたP17
2	基本制御(点灯·消灯/調光/調色)P19
3	シーン制御P23
4	スケジュール制御P24
5	センサ制御P25
6	セクション表示
各種設定	そのしかたP28
1	シーン設定P29
2	スケジュール設定P31
3	指定日スケジュール設定P34

システム	設定 ······P38
1	システム設定画面への移動P39
2	システム設定項目P40
3	グループ設定P42
4	インポート/エクスポート設定P44
5	システム最大調光率P45
6	センサ設定P46
7	照度センサ設定P47
8	人感センサ設定P49
9	起動時点灯設定P52
スイッチ	設定P54
1	システム設定画面への移動P55
2	システム設定項目P56
3	スイッチ設定 (壁掛タイプの場合)P57
4	スイッチ設定 (壁埋込タイプの場合)P60
システム	拡張についてP64
1	ベースモジュールの照明制御台数拡張 と複数台構成
お困りの	ときはP66
付録	P69
保証とア	フターサービス裏表紙

電波の使用に関する注意

本機に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本機の使用に際しては、無線局の免許は 必要ありません。

- ●本機の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本機の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- ●本機は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本製品の使用による免責事項について

本機を用いて2.4GHz帯の無線データ通信を行う場合、下記の用途には使用できません。また、当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- ●医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- ●故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本製品の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する 一切の責任も負いかねます。

■セキュリティに関する注意

2.4GHz帯の無線データ通信は電波を使ってデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線LANを使用する際は、その危険性を十分に理解し、データの安全を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

■電波防害について

下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。 このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

- ●本機と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●本機と照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●本機の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- ●金属物の壁面に本機を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●本機または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●本機または照明器具の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
- ●展示会場やイベント会場など人が集まる場所。

送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、照明器具 と本機は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。 電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。

内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。

LiCONEX システムの構成図や設置条件、基本の操作画面の概要について 説明します。

1 用語説明

メッシュリンク	LiCONEXに搭載されている、アイリスオーヤマの オリジナル無線通信方式のこと。
ベースモジュール (BM)	無線LAN機能やメッシュリンクの親となる BLEモジュールを備えた機器のこと。 OMを最大4つ搭載できる。
オーガナイジング モジュール (OM)	親機モジュール。 BMに内蔵されているBLEモジュール。 全体ネットワークの親となる。
ブロック	1台のOMが操作する範囲。
グループ	ユーザが決定する灯具の群。 最大100グループまで登録できる。
MACアドレス	ネットワーク接続する機器すべてに付与されている 符号。重複しないように割り当てが決まっている。

1	用語説明P07
2	システム構成P08
3	無線通信の注意点P09
4	ベースモジュールの各部の名称P11
5	タブレットの接続のしかたP12
6	基本の画面構成P15

2 システム構成



LiCONEX (ライコネックス) は、無線により照明を制御するシステムです。 タブレットとベースモジュール (BM) は「無線LAN (IEEE802.11g)」により 通信し、ベースモジュールから照明には、当社オリジナルの「メッシュリンクプロ トコル」により通信します。

「メッシュリンクプロトコル」は空いている周波数チャネルを自動で検索する 「適応型チャネルホッピング」で耐障害性を強化したオリジナル通信方式です。

ベースモジュールは常に通電した状態にしてください。 WEBページの操作や照明制御ができなくなります。

3 無線通信の注意点

■設置条件と通信距離

無線通信には通信距離に制限があります。 下記の通信距離以内になるように設置してください。

・タブレットとベースモジュールの通信距離:約20m ・ベースモジュールと照明の通信距離:約15m

・照明同士の通信距離:約15m(ロングレンジタイプ:約500m)



※設置環境によっては電波が届きにくい場合があります。通信可能距離を超える場合でも、中継 機(別売)やメッシュリンクユニット(別売)を設置することで通信できる可能性があります。※障害物(天井高、防火扉、梁、コンクリート、金属等の壁の素材)がある場所や屋外であっ ても、ロングレンジ対応の製品を使用することで通信できる可能性があります。詳しくは当社営業担当までお問い合わせください。

9

3 無線通信の注意点 っづき

■通信復帰時間について

照明の電源をオフにすると通信が遮断されます。電源を再度オンにした際、 通信が復帰するまでに一定の接続時間がかかります。

通信が復帰するまでの間は、制御状態にかかわらず以下設定のいずれかで 点灯します。(接続時間は接続する照明の台数により異なります。 (30秒~2分程度))復帰するまでは無線制御はできません。 ①システム最大調光率

LiCONEX導入時に設定した調光率の最大値で点灯 ②設定した調光率

「①システム最大調光率」を基準として設定した調光率 ③最終状態の調光率

終業時など、消灯時の調光率を再現して点灯

④現在の調光率

現在、個別またはグループ単位に設定されている調光率で点灯 ※詳細はP52をご参照ください。



4 ベースモジュールの各部の名称



■仕様

品番	IRLI-BM-V3
サイズ(mm)	W170×H150×D46
消費電力(W)	3.0(100V時)
質量(kg)	0.6
主要材質	ABS樹脂

定格電圧: AC100~242V
 (付属電源コードは100V専用)

- ●定格周波数:50/60Hz
- ●使用環境温度:5~35℃

※商品の仕様は予告なく変更する ことがあります。

■制御台数の拡張について

拡張ユニットを使用することで、1ユニットごとに1000台まで追加できます。

5 タブレットの接続のしかた

LiCONEX システムをコントロールするためのタブレットを、ベースモジュール に接続する方法を説明します。

(タブレットのほか、スマートフォン、パソコンでも利用可能です。)

・推奨仕様

タブレット端末OS	Android 5.1 以降 iOS 9 以降
対応ブラウザ	Android:Chrome Ver.58.0 以降 iOS:Safari Ver.10.0 以降
画面解像度	1920 X 1080 以上 (ディスプレイは10インチ以上推奨)
無線LAN	IEEE802.11g

・接続のしかた (Android、iOS共通)

①タブレットの時刻を正確に設定します。(スケジュール制御の設定などに影響します。最低1か月に1回同期してください。)

②ベースモジュールのスイッチをONにします。③タブレットの「設定」から「Wi-Filを選択しONにします。

④ネットワーク欄に表示されるネットワーク名(SSID)を選択します。



※ネットワーク名はお使いの環境によって異なります。

ベースモジュールに記載のSSIDとパスワードをご確認ください。(P11)

⑤パスワードを入力してください。接続が完了します。



⑥WEBブラウザを起動し、アドレス欄に以下のURLを入力すると、 LiCONEX制御画面が表示されます。



^⑥URLを入力

http://192.168.14.70:8000~8004

★URLの末尾4桁によって画面が変わります。

(8000の画面 (ベースモジュール画面) から各部屋をタップして移動することも できます。)

~:8000…ベースモジュール画面(各配灯画面の構成画面)

~:8001~8004…各配灯画面(最大4画面)

5 タブレットの接続のしかた っづき



- ※施工後、8001~8004のフロアに名称が付きます。ご不明の際は弊社担当へ ご連絡ください。
- ※URLは施工場所によって異なる場合があります。ご不明の際は弊社担当へ ご連絡ください。
- ※同一のタブレットで複数のベースモジュールを操作する場合、必ずキャッシュを クリアしてください。

6 基本の画面構成

※お客様の使用環境などによって画面が 異なります。

→ ≡ メインメニュー

LiCONEX システムを制御するアプリケーションの画面構成です。ベースモジュール画面をホームとして図のように画面移動を行えます。それぞれの画面での操作方法は各頁を参照してください。

■ベースモジュール画面(ホーム画面)

画面上の各配灯エリアを選択し、配灯画面に 移動します。



点灯・消灯、調光の基本制御、シーンやスケジュール、センサを活用した自動制御のしかたなど、LiCONEXを用いた照明の制御のしかたを説明します。

※操作はベースモジュールと通信できるエリア(通信距離約20m以内、水平地点 において見通しが良いところ)で行ってください。



※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

配灯画面のみかた



[その他画面操作でできること]

■配灯画面の移動

スワイプで移動ができます。

■配灯画面の拡大・縮小

ピンチアウト・ピンチインで拡大・縮小ができます。

1 配灯画面のみかた っづき



18

2 基本制御(点灯·消灯/調光/調色)

点灯・消灯/調光/調色の設定を行います。

1 制御を行う照明を選択します。

選択モードを切り替えて、制御対象の照明を選択します。 ①画面左端の選択モードを切り替えます。

[四 全体] モード…全ての照明を選択します。

[グループ] モード…照明が登録されているグループ単位に選択します。 グループ (グループの登録/変更の方法は、 P42 [3 グループ設置 | をご参照ください)

[] 個別] モード…照明を個別に選択します。

②配灯図の照明アイコンをタップします。

選択したモードに従い、照明が選択されます。

※照明が選択されると、画面右側に照明操作パネルが表示されます。 ※配灯図表示エリア右下のiをタップすると、最後に選択した照明の情報、 または現在選択している照明数が表示されます。

2 基本制御(点灯・消灯/調光/調色) つづき



照明が選択されると、画面右側に 照明操作パネルが表示されます。



2 基本制御(点灯・消灯/調光/調色) つづき



3 シーン制御

シーンの設定を行います。

1 全体操作パネルを表示します。

画面右上の [全体操作] をタップし、全体操作パネルを表示します。

2 シーンを設定します。

全体操作パネルの「シーン適用」から適用するシーン名を選択します。 選択するとシーンが再生されます。

1 全体操作パネルの表示

Carrier 🗢	2:45 PM		1
$\langle \rangle$ \square		Ċ	+
< 配灯画面(1号館)		照明操作 🗸 😂 全体	操作 ~
		制御モード設定	
0		スケジュール	(
		照度センサ	(
Tan 1		人感センサ	(
上 ¹¹¹¹ 」 全体		シーン適用	
		シーン1	
グループ 			
_			

選択	~
シーン1 シーン2	

4 スケジュール制御

スケジュールの設定を行います。

1 全体操作パネルを表示します。

画面右上の [全体操作] をタップし、全体操作パネルを表示します。

2 スケジュールをONにします。

全体操作パネルの「制御モード設定」から「スケジュール」をONにします。 ※スケジュールをONを行うと全照明グループに反映されます。

配灯図グループから個々に照明を選択していてもスケジュール動作が優先されます。 (消灯状態の照明にはスケジュール制御が適用されません。照明を点灯させた場合、 スケジュール制御が適用されます。)

Carrier 🗢	2:45 PM	C	10 10
< 配灯画面(1号館)		照明操作 ~	全体操作 へ
		制御モード設定	
Q		スケジュール	
		照度センサ	C
ALL		人感センサ	C
2#		└ シーン適用	
		選択	
			I
個別			
		<u> </u>	

1 全体操作パネルの表示

5 センサ制御

マルチセンサや照明のセンサの設定を行います。

本項では、当社製品のマルチセンサについての制御方法を記載します。 マルチセンサとは、人感センサ機能、照度センサ機能、中継機能を備えた センサです。詳細は (P26) をご参照ください。

1 全体操作パネルを表示する

画面右上の [全体操作] をタップし、全体操作パネルを表示します。

2 照度センサまたは人感センサをONに設定する

全体操作パネルの「制御モード設定」から「照度センサ」または 「人感センサ」をONに設定します。

※同じシステム内に設置可能なセンサ数は、最大400です。

※1つのセンサで、照度センサ機能と人感センサ機能との同時使用はできません。 ※同じシステム内に複数のセンサが設置されている場合は、それぞれのセンサが有効となります。

例) 同一システム内に、センサA、センサBが設置

・センサAは人感センサ、センサBは照度センサとして、それぞれ使用できます。

・センサAを人感センサ + 照度センサとしては使用できません。

詳細はマルチセンサの取扱説明書をご参照ください。

5 センサ制御 っづき



2 照度センサまたは人感センサをONに設定・

※人感センサ機能のON/OFFを切り替える時、制御対象になっている照明が 一時的に消灯し再度点灯します。

※人感センサのON/OFFも、スケジュール制御できます。

例) 人感センサを時間帯で制御する

·夜間…人感センサをONにする

・日中…人感センサをOFFにする

この場合、スケジュール:ON、人感センサ:OFF に設定してください。(→P69) ※人感センサをOFFにすることで、スケジュール機能から制御可能となります。

各センサモードになると、表示灯が点灯します。



6 セクション表示

各セクションごとに照明を登録 してまとめて表示できます。

登録したセクションの制御を行います。

お客様のお好みに合わせて、表示したい照明の範囲を表示*・設定できる 機能です。

※セクションの登録はシステム設定画面から設定可能です。詳細はP42「3 グループ 設定」をご参照ください。

登録したセクションの表示方法

画面右下の「表示セクションの切り替え」から、適用するセクション名を選択 します。

復帰方法

「表示セクションの切り替え」から 配灯画面 を選択してください。



照明の自動調光機能、シーン制御とスケジュール制御について、設定のし かたを説明します。

初期の設定については当社担当が行います。設定の変更や追加の際に操 作してください。

※設定操作はベースモジュールと通信できるエリア(通信距離約20m以内、水平 地点において見通しが良いところ)で行ってください。

1 シーン設定P29	
2 スケジュール設定P31	
3 指定日スケジュール設定P34	

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 シーン設定

グループごとに色や明るさを設定します。
シインメニューから シーン設定 をタップします。
シーンー覧から設定するシーン名を選択します。
シーンを使用するグループを選択します。
グループごとの調光率を設定します。 グループごとの調光率を設定します。
グループごとの調光率を設定します。
(日ボタン、〇ボタンをタップするごとに5%ずつ増減します。)

【存をタップし、設定を保存します。 ※保存のみでは設定は反映されません。
【存が完了したら <u>1 シーン設定を送信</u>をタップし、ベースモジュールに 設定を送ります。

*シーンは15個まで登録できます。
*シーンは15個まで登録できます。
*シーンと利ち任意の名称に変更することができます。
*シーン設定を送信すると、配灯画面に戻ります。
*設定が反映されるまで時間が掛かります。



2 スケジュール設定

時間帯ごとの明るさを設定します。 1 Ξ メインメニューから **□** スケジュール設定 をタップします。 2 設定するスケジュールの[詳細設定]をタップします。 通常(曜日スケジュール)とは異なるスケジュールを設定したい場合、 ■ 指定日カレンダー設定 ☆ 指定日スケジュール詳細設定 から行います。 (→P34) 2 スケジュールの詳細を選択 -2:45 PM c ന + П < < スケジュール設定 詳細設定 名称変更 ¢ 平日 晴天 南窓際席 \$ 2 平日 悪天 南窓際席 1 \$ 平日 晴天 西家際度 3 \$ 4 平日 悪天 西窓際席 \$ 5 平日 晴天 ミーティングルーム 1 \$ 6 平日 悪天 ミーティングルーム P 平日 集中ルーム \$ 7 \$ 平日 休憩ルーム 8 \$ 9 スケジュール9 _____ スケジュール設定を送信 10 JU-,_____ スケジュールの名称を変更したい場合 スケジュール 既存のスケジュール を複数有効に をコピーし、新たなス は、「

「

」
を
タップし、

「
スケジュール名 することはで ケジュールを作成す 称の変更]から入力後、[確定]をタップ ることができます。 きません。 してください。

つづく→

2 スケジュール設定 っづき



3 指定日スケジュール設定

通常とは異なるスケジュールの色や明るさを設定します。 3 設定を行う日をタップします。 1 三 メインメニューから 🌣 指定日スケジュール詳細設定 をタップします。 ↑ カレンダー設定を送信 をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。 2 | 〒 指定日カレンダー設定 | をタップし、 | 指定日カレンダー1 | ~ 3 設定を行う日を 指定日カレンダー4 のいずれかをタップします。 タップすると、 ※指定日カレンダーは4つまで設定できます。また、設定内容は 枠が付きます。 「指定日カレンダー1」~「指定日カレンダー4」の順で優先して反映されます。 通常(曜日スケジュール)とは異なるスケジュールを設定したい場合、 ☆ 指定日スケジュール詳細設定 から行います。 ▶ 指定日カレンダー設定 18:57 7月15日(金) ull 🗢 90% 🔳 Û + 88 • < ぉあ 192 168 14 70 指定日カレンダー設定4 2022 2023 = 2 指定日カレンダー : 優先度の高い指定日カレンダーで指定済み すべてのブロックに適用 対象ブロック: 1~4を選択 26 27 29 30 2022年7月 B 月 水 木 ± 19:04 7月20日(オ uti 🗢 82% 🔳 ぉあ 192.168.14.70 Ċ Û + == 1 2 スケジュール設定(蒲田オフィス) 🏟 指定日スケジュール詳細設定 3 5 6 7 9 4 8 指定日カレンダー1 11 13 10 12 14 15 16 指定日カレンダー2 1 17 18 19 20 21 22 23 スケジュール1 指定日カレンダー3 26 27 29 30 24 25 28 2 スケジュール2 指定日カレンダー4 31 3 スケジュール3 Ċ 1 2022年8月 ¢. 4 スケジュール4 1 H 日 火 水 木 余 + Ċ. 5 スケジュール5 指定日カレンダー取込 カレンダー設定を送 Ø. 6 スケジュール6 1 Ċ. 7 スケジュール7 4 ベースモジュールへ Ċ. 8 スケジュール8 設定内容を送信 Ċ. 9 🔿 スケジュール9 P -----あらかじめ設定した (D ==== 指定日を読み込むこ

とができます。

34

つづく→

5

3 指定日スケジュール設定 っづき

✿ 指定日スケジュール詳細設定
をタップします。

※例えば、 指定日スケジュール1 は 指定日カレンダー1 の色や明るさを 設定します。

			5 指定日スケ 1~4を選打	⁻ ジュール 沢。	,
19:05 7/	月20日(水)				uli 🗢 82% 🔳)
	< >	න්ත	192.168.14.70	5	<u>с</u> ́т + н
<	スケジュー	ル設定(蒲田オフィス)	🏟 指定日スケジュー	ール詳細設定	龍田カレンダー設定 三
	有効	スケジュール名称	指定日スケジュー	- <i>ル</i> 1	名称変更
1	۲	スケジュール1	指定日スケジュ- 指定日スケジュー	ール2 ール3	/
2		スケジュール2	指定日スケジュ-	ール4	1
з		スケジュール3	*	\$	-
4		スケジュール4		\$	-
5		スケジュール5		ф.	1
6		スケジュール6		ф.	/
7		スケジュール7		\$	1
8		スケジュール8		\$	1
9		スケジュール9		\$	1
10		- 6.57 11 4 7		<u>~</u>	スケジュール設定を送信

6 P30の2スケジュール設定 4 と同様、スケジュールを設定をします。

37

照明の制御を行ううえでの設定を行います。

本項は配灯画面 (192.168.14.70:8001~:8004) からのシステム設定画面の 項目の説明をします。



初期の設定については当社担当が行いますので、変更の必要がある場合のみ 操作してください。

1 システム設定画面への移動 P39	
2 システム設定項目 P40	
3 グループ設定 P42	
4 インポート/エクスポート設定 ····· P44	
5 システム最大調光率 P45	
6 センサ設定 P46	
7 照度センサ設定 P47	
8 人感センサ設定 ······· P49	
9 起動時点灯設定 P52	

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。
 ※スイッチ設定とシステム時刻設定はベースモジュール画面(192.168.14.70:8000)
 から設定可能です。P57、60「3 スイッチ設定」をご覧ください。

1 システム設定画面への移動

 ■メインメニューボタンをタップし、 ◆ システム設定 ボタンをタップ します。



2 パスワード入力を求められますので、入力して 決定 ボタンをタップ します。

Pad 중			17:55			@ * 1	00% m
<	>	\square	192.168.14.71	C	Û	+	
			パスワード				
			決定				
			·,				

※パスワードは導入時に当社からお伝えします。 お忘れの場合は当社担当にお問い合わせください。

2 システム設定項目

システム設定の各項目の設定を行います。



■設定項目

①グループ設定

グループ設定(設定方法はP42 グループ設定))をご覧ください。

②インポートとエクスポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報を別のLiCONEXベースモジュール へ移行できます。(パソコンでのみ操作できます。)

・インポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報をインポートできます。

ファイルを選択し 合 インポート をクリックしてください。

・エクスポート

LiCONEXのベースモジュール設定情報をファイルに書き出します。 (設定方法はP44「4 インポート/エクスポート設定」をご覧ください。)

③システム最大調光率

制御上の調光率の最大値を設定します。(50%~100%) 設定値を入力し / 設定 をタップします。 例:システム最大調光率の設定値が50%のとき、照明を100%調光すると、 定格の50%分の明るさとなります。 (設定方法はP45 [5 システム最大調光率]をご覧ください。)

④照度センサー設定

(設定方法はP47「7照度センサ設定」をご覧ください。)

⑤人感センサー設定

(設定方法はP49「8人感センサ設定」をご覧ください。)

⑥起動時点灯設定

(設定方法はP52「9 起動時点灯設定」をご覧ください。)

3 グループ設定

複数の照明をグループとして登録します。

(最大100グループまで登録可能です。)

1 システム設定から □ グループ設定へ> をタップします。

2 - A 新規でグループを追加する場合

① 新規グループ追加
 をタップします。

※新規グループを追加した場合、使用していない最初のグループNo.が 割り当てられます。

2 - B 現状のグループを編集する場合

編集するグループNo.を選択します。 配灯図グループに、そのグループNo.に所属している照明アイコンが選択 状態となります。

選択中のグループNo.の名称を変更する場合は



4 グループにセクションを設定する事ができます。*

セクションとは、配灯画面にて設定したグループをピックアップして表示する ことができる機能です。セクションNoを選択し、セクション名称を入力します。 ※セクション設定は未設定でも問題ありません。 ※セクションの最大設定数は100です。



│ <u>↑</u> グループ設定を送信 │をタップしてベースモジュールに設定内容を送ります。 設定が反映されるまで時間が掛かります

※ひとつの照明はひとつのグループNo.にのみ登録できます。 別のグループNo.に登録すると、元のグループNo.からは削除されます。



4 インポート/エクスポート設定

インポート

・設定ファイル (事前にエクスポートしたファイル (P41)) をベースモジュール に反映させます。

□ ファイルを選択 をタップします。

- 2 LiCONEX設定専用ファイルを選択します。 ※詳細は当社担当にお問い合わせください。
- 3 小 インポート をタップします。

エクスポート

 ・ベースモジュール内の情報から設定ファイルを生成します。
 (グループ設定やセンサー設定、スケジュール設定など、変更した設定内容の バックアップを取得します。)

🕑 エクスポート をタップします。

表示されたメッセージの[ダウンロード]を選択します。 画面の表示にしたがって保存先を選択します。



5 システム最大調光率

制御上の調光率の最大値を設定します。(50%~100%) 設定値を入力し ~ 設定 をタップします。

例:システム最大調光率の設定値が50%のとき、照明を100%調光すると、 定格の50%分の明るさとなります。

システム最	大調光率
← 戻る	システム設定(office floor) 三
グループ設定	□ グループ設定へ >
インポート	ファイルを選択 オンボート オンボート
エクスポート	ピ エクスポート
システム最大調光率	設定値 100% 🗸 🔀 設定
照度・人感センサ設定	沙 照度・人感センサ設定へ 〉
起動時点灯設定	◎ 起動時点灯設定へ >
システムのバージョン	フロント:**.** サーパー:v*.**

45

6 センサ設定



センサとそれに連動して動作する照明の紐づけ設定を変更することはできません。変更する場合には、当社担当までお問い合わせください。

■ システム設定から、 ※ 照度センサ設定へ > ※ 人感センサ設定へ > をタップします。

2 センサ番号から設定するセンサを選択します。 (配灯図からセンサのアイコンを選択し、照明情報を表示するとセンサ 番号を確認できます。)

※同じシステム内に設置可能なセンサ数は、最大400台です。



2 設定するセンサ番号を選択(センサ数:最大400台まで)

※照度センサをONにすると通常の 照度センサ設定 調光はできなくなります。 照度センサを適用するための設定を行います。 システム設定から、 ジ 照度・人感センサ設定へ をタップします。 ◎ 照度センサ設定へ をタップします。 2 室内が維持したい明るさになるように、調光設定で調整します。 3 ※照度センサの値は外光が影響します。 設定の際はなるべく外光が入らない環境で実施してください。 「目標照度設定] ボタンをタップすると、その明るさを記憶し、設定を 4 完了します。 5 [最低調光率設定] ボタンをタップすると、最低調光率の%値 (0~100%(5%刻み))を設定します。 ※照度センサは1台/センサグループが設定上限になります。 ※設定された周囲環境(明るさ、レイアウトなど)に変更があった場合は 再設定が必要です。 ※マルチセンサ (別売)の機能切り替えはセンサ設定 (P25) をご覧ください。 ※マルチセンサは別売です。当社担当にお問い合わせください。 センサグループとは ・センサとそれに連動して動作する照明の組合せを「センサグループ」と呼 びます。 ・センサグループの設定を変更することはできません。 変更する場合には、当社担当までご連絡ください。 ・センサグループは、1ブロックあたり100グループまで設定することがで きます。 ・照度センサとして使用できるセンサ数は1台、人感センサとして使用できる センサ数は30台です。

7 照度センサ設定 っづき



8 人感センサ設定

人感センサの詳細設定を行います。

1 システム設定から、 🦅 照度・人感センサ設定へ をタップします。

2 ◎ 人感センサ設定へ をタップします。

3 センサ番号から設定する人感センサを選択します。

(配灯図から人感センサのアイコンを選択し、照明情報を表示するとセンサ 番号を確認できます。)

4 各種設定する。

- ・点灯継続時間… 人の動きを感知しなくなってから減光するまでの時間です。
 (15秒刻み、最大3600秒)
- ・点灯照度設定… 人感センサが起動する周囲の照度を設定します。 (0~9レベル)



・感度 ………… 人の動きに対する感度を設定します。 (0~9レベル)

※一部感度固定の製品があります。 詳細は商品の取扱説明書を ご覧ください。



8 人感センサ設定 っづき

- ・点灯調光率 … センサ反応時の点灯する明るさを設定します。 (0~100% (5%刻み))
- ・減光率 ……… 人の動きがない際(待機時)の明るさを設定します。
 (0~100%(5%刻み))

5

→ 設定 ボタンをタップして設定を完了させます。

※センサについての詳細は、マルチセンサ(別売)の取扱説明書を ご覧ください。

※人感センサは 30台/センサグループ が設定上限になります。 ※マルチセンサは別売です。当社担当にお問い合わせください。

センサグループとは

・センサとそれに連動して動作する照明の組合せを「センサグループ」と呼びます。

・センサグループの設定を変更することはできません。

変更する場合には、当社担当までご連絡ください。

・センサグループは、1ブロックあたり100グループまで設定することができます。

・照度センサとして使用できるセンサ数は1台、人感センサとして使用できる センサ数は30台です。

3 設定するセンサをタップ



※一部感度固定の製品があります。 詳細は商品の取扱説明書を ご覧ください。

起動時点灯設定 9



スイッチ設定

ベースモジュール画面(192.168.14.70:8000)から設定可能な システム設定についての説明です。



スイッチの登録・初期設定は当社担当が行います。ご希望の場合は当社担当 までお問合せください。変更の必要がある場合のみ操作してください。

1	システム設定画面への移動 P55
2	システム設定項目 P56
3	スイッチ設定 P57 (壁掛タイプの場合)
4	スイッチ設定 P60 (壁埋込タイプの場合)

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。※スイッチ設定は192.168.14.70:8000から実施してください。 (192.168.14.70:8001~8004では設定できません。)

1 システム設定画面への移動

■メインメニューボタンをタップし、 システム設定 ボタンをタップします。



2 パスワード入力を求められますので、入力して 決定 ボタンをタップ します。

\$			17:55			@ \$ 1	00% 💼
<	>	\square	192.168.14.71	Ç	Û	+	
			XX9-F				

※パスワードは導入時に当社からお伝えします。 お忘れの場合は当社担当にお問い合わせください。

スイッチ設定

2 システム設定項目

システム設定の各項目の設定を行います。

スイッチ設定ボタン スイッチ設定画面へ移行します。 ▶P57、60

— 戻る	システム設定(北側(C	M1-4)) =
スイッチ設定	☆ スイッチ設定へ 〉	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
インポート	ファイルを選択	☆ インポート
エクスポート	エクスポート	
システム時刻設定	③ 現在時刻取得	// : :
	 システム時刻更新 	
4		
タブレットの システム時刻 →「時刻を更 しいですか とポップが 「OK」をタ ※事前にタブL 設定しておし	 時刻とBMの を同期します。 新してもよろ ?] 出るので、 ップします。 /ットの時刻を いてください。	 インポート/エクスポート設定 設定情報をインポート/ エクスポートします。

3 スイッチ設定(壁掛タイプの場合)

1 設定するスイッチを選択します。

2 設定を行うボタンの番号をタップし、選択します。

スイッチの「∨」「∧」に対して、上からボタン1~ボタン4が対応して います。また、短押しと長押し(2秒以上)それぞれの設定ができます。



3 グループ、全グループまたはシーンを選択します。

グループは複数選択可能です。選択したグループのリストがグレーアウト します。全グループを選択すると、リストエリアが全てグレーアウトします。

4 選択したグループの調光または調色を設定します。

・スイッチ本体での操作設定例

調光

∨:短押しすると暗くなります。長押しすると消灯します。
 ∧:短押しすると明るくなります。長押しすると点灯します。

調色

- ♥:短押しすると1段階電球色に近づきます。長押しすると 100%電球色になります。
- ▲:短押しすると1段階昼光色に近づきます。長押しすると 100%昼光色になります。

3 スイッチ設定(壁掛タイプの場合) っづき

5 調光・調色のジャンプ率 (変化量)を選択します。

調光:明るくまたは暗くするジャンプ率を10、20、30、40、50%から選択 調色:一段階下げる、または一段階上げるを選択

6 設定を送信します。

※設定できるスイッチの台数は、1ベースモジュールあたり50台です。

 1 設定するスイッチを選択 2 ボタンを選択 	4 調光か調色いずれかを選択 選択したグループに設定がされていない 場合や複数グループを設定した場合は 現在の設定は表示されません。 ※トグル動作とは、同じボタンで点灯と消火 を切り替える動作のことです。
	「ボタンの設定をクリア」を選びすると 各ボタンの設定がクリアできます。
	イッチ設定画面(北側(OM1-4)) 三
登録済みのスイッチ ボタン ガ押し	ポタンの設定をクリア
[001] 6B17E7C498A~ ボタン 上長押し	Bras Y
[002] 5AFBC0489799	○ 調光率0%
[003] 7C255DFD86CA	○ 消灯
	○ 点灯 ○ トグル動作(占灯/海灯)
1004J F215ABAGEU4~ ボタン	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<u></u>	1段階
[006] 7D1A3C5C1E76	○ 100%電球色に変化
[007] DACCED2186D9	○ 100%基光色に変化
[009] EDF0A333C215	
[010] 9A61181419DF	[短押し]:- [短押し:-
3 グル シー:	ープ、全グループまたは 6 設定を送信 ンを選択
スイッチの設定 ² できます。	をコピー
	ちの歌った 5 調光または調色の
	+の設定を 変化量を選択
反映し	
	59

スイッチ設定

2

4 スイッチ設定(壁埋込タイプの場合)

1 設定するスイッチを選択します。

設定を行うボタンの番号をタップし、選択します。

ボタンの位置に対して、左上から「1」~「8」が対応しています。 また、短押しと長押し(2秒以上)それぞれの設定ができます。



3 グループ、全グループまたはシーンを選択します。

グループは複数選択可能です。選択したグループのリストがグレーアウト します。全グループを選択すると、リストエリアが全てグレーアウトします。

4 選択したグループの調光または調色を設定します。

・スイッチ本体での操作設定例

調光

- 「1」:短押しすると暗くなります。長押しすると消灯します。
- 「5」:短押しすると明るくなります。長押しすると点灯します。

調色

- 「2」:短押しすると1段階電球色に近づきます。長押しすると 100%電球色になります。
- 「6」:短押しすると1段階昼光色に近づきます。長押しすると 100%昼光色になります。
- (長押しの設定方法はP63参照)

5 調光・調色のジャンプ率(変化量)を選択します。 調光:明るくまたは暗くするジャンプ率を10、20、30、40、50%から選択 調色:一段階下げる、または一段階上げるを選択

6 設定を送信します。

※設定できるスイッチの台数は、1ベースモジュールあたり50台です。

4 スイッチ設定(壁埋込タイプの場合)っづき



■長押しの設定方法

※設定を行うボタンがあらかじめ短押しの設定を完了していること確認してください。 短押しの設定がされていないと長押しの設定ができません。

①設定を行うボタンの番号を選択します。

②「長押しを有効にする」のチェックを付けます。

③ボタンの設定の「長押し」を選択します。

④短押しの設定と同様、グループの選択や調光調色の設定を行います。



システム拡張について

LiCONEXシステムの制御台数拡張機能、ベースモジュール同士の連携や 操作画面について説明します。

ベースモジュールの照明制御台数拡張 と複数台構成……P65

※本書で使用する画面の構成は予告なく変更する場合があります。

1 ベースモジュールの照明制御台数 拡張と複数台構成

■ベースモジュールの照明制御台数拡張のしかた

ベースモジュールは拡張ユニット*(別売)を使用することで、照明の制御台数を最大4000台まで拡張できます。

※拡張ユニット1台につき1000台まで制御台数拡張ができます。
※ベースモジュール1台につき最大3台まで拡張ユニットを追加できます。

制御台数拡張ポート 拡張ユニット(別売)

■ベースモジュールの複数台構成

複数台のベースモジュールを設置した場合、IRIS中央制御システム(別売)を 用意することで、1つのPCから全てのベースモジュールを操作できます。





つづく→

の操作で点灯させて

ください。

お困りのときは……



付録

P25 人感センサを時間帯で制御する (夜間…人感センサをON、日中…人感センサをOFFにする場合)

- 1 Ξ メインメニューから 💼 スケジュール設定 をタップします。
- 2 設定するスケジュールの[詳細設定]をタップします。
- 3 設定を行うグループ・曜日を選択します。
- 4 スケジュールを設定します。
- 6 ↑ スケジュール設定を送信 をタップし、ベースモジュールに設定を送ります。



 4 「スケジュールは0:00から設定します。 日をまたいで人感センサをONにする場合は、最初と最後の行の「センサ」を「人感ON」に設定してください。 (画面は、人感センサを19:00~翌8:00でON、8:00~19:00 はOFFにした場合です。)

69





- 7 配灯画面に戻ったあと、画面右上の [全体操作] をタップし、 全体操作パネルを表示します。
- 2 全体操作パネルの「制御モード設定」から「スケジュール」をONに、 「照度センサ」と「人感センサ」はOFFにします。



保証とアフターサービス

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業に ______お問い合わせください。_______

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できる ものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期 間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合に は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能 部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせ ください。

必ずお読みください。

保証規定 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせてい ただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障およ び損傷
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指 定外電源(電圧・周波数)の使用などによる故障および 損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および 損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国以外での使用による故障および損傷

 アイリスオーヤマ株式会社
 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
 法人向けLED照明 ホームページ
 https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/

 製品に関するお問い合わせは(通話料無料) LED照明サポートコール
 0800-111-5300
 (受付時間) 平日9:00~22:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

 FAXでのお問い合わせは (通信料無料)
 0800-111-93000
 Webからのお問い合わせは (メールフォームにご記入のうえ送信してください)
 https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/